



①

1884年、藤岡市助は国の使節に任命され、アメリカに渡って電気産業の視察を行うと共に、エジソンの研究室を訪問し、日本に電気事業を創設することを心に決めた。工部大学校（現在の東京大学工学部）の三期生であった藤岡は、工部大学校を卒業後、母校の教壇に立ち電気を教えるかたわら、日本の夜を電気の明かりで照らすことに関する研究を続けていた。そして、1886年に大学を辞し「東京電燈」（東京電力株式会社の前身）の技師長となり、白熱電灯の試作を開始した。さらに、東京博覧会における「電車」の発表、電灯メーカー「白熱舎」の設立、東京浅草のエレベータ設置など、目覚しい活躍をしており、これらの業績は、いずれも「日本初」と冠せられるものばかりである。科学者・研究者・教育者・実業家など、様々な顔をもち、明治の黎明期に国産化技術の確立に奔走した藤岡市助は、教育界および産業界に多くの足跡を残し、また、多くの人材を育てており、その活躍は顕彰に値する。

工部大学校入学前に藤岡市助が学んだ岩国学校校舎は、現在、岩国学校教育資料館として活用されており、藤岡市助記念コーナーには、藤岡市助関連の史料約3500点が展示・保管され、その業績を今に伝えている。

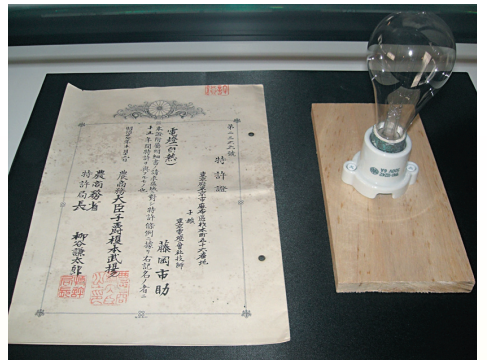
- ☆顕彰先 : 岩国学校教育資料館
- ☆所在地 : 〒741-0062
山口県岩国市岩国3-1-8
- ☆電話 : 0827-41-0540
- ☆ホームページ : <http://www.city.iwakuni.yamaguchi.jp/>（岩国市ホームページ）
- ☆アクセス : JR岩国駅よりバスで約15分



②



③



④

(写真提供：岩国学校教育資料館)

- ① 岩国学校教育資料館 外観
- ② 資料館に展示されている藤岡式電球など
- ③ 藤岡市助記念コーナー
- ④ 白熱電球の特許証